



『コミュニケーション／嚥下障害の評価・治療 Update』

コミュニケーション障害や嚥下障害の評価治療理論は年々発展しています。本講座では、本学の教員より最新の理論や技法を紹介します。医療・福祉・教育現場に携わるセラピストや教員の皆さんはもちろん、看護師や介護福祉士など様々な職種の方にご参加いただきたいと思います。また身近に障害を持った方がいらっしゃるなど、一般の方のご参加も可能です。

| 日程 | テーマ・内容 | 講師 |
|--------------------------|---|---------|
| 第 2 回 11/9(土) | 『吃音の評価と言語治療の実際』 個々に様々な症状があり、さらに変動(波)が大きく、訓練プランの立案に大変苦勞するのが吃音です。本講座では、小児の吃音を中心に、「吃音検査法」を用いた検査の実際と、検査結果の解釈を中心に説明します。また、吃音に対する訓練法について、基本的な原理と効果を事例の紹介を通して説明します。 | 谷 哲夫 教授 |
| 第 3 回 12/21(土) | 『基礎的嚥下訓練 Update 一喉頭挙上訓練に焦点を当てて一』 喉頭挙上は咽頭期の際、食物移送や喉頭閉鎖に関わる重要な役割を担っています。喉頭挙上訓練を行うと、運動生理学的にどのように変わるのか、そもそも喉頭挙上は一回嚥下量や粘性を変えたとき、どのように変わるのか、文献を交えてお話しします。また、臨床で既存の喉頭挙上訓練を行うことが難しいとき、どのような方法で行っていくと良いか、お話しします。 | 佐藤豊展 助教 |
| 第 4 回 1/11(土) | 『エビデンスに基づいた読み書き指導 ーデジタル時代のリテラシー発達へー』 過去80年にわたって、主に英語圏での研究により読み書き獲得が困難な子どもたちへの効果的な指導法が明らかになってきました。言語により脳の発達様相は多少異なるが、効果的な指導においては共通点も多いのです。効果的な読解に必要な音読の自動性と流暢性、音韻認識、文字処理、語彙・文法・形態・意味指導について、また、デジタル時代に子供たちが日々親しんでいるタブレットやスマートフォン上のざっと読み(skimming)によるリテラシー発達について説明します。 | 小林マヤ准教授 |
| 第 5 回 2/29(土) | 『構音障害を理解するために必要な音声学入門』 構音障害とは、なんらかの原因によって音が正確に発音されないことを言います。臨床ではどうしてその音が適切に発音されていないかを検討し、正しい発音にするにはどのように構音運動を変化させればいいのかを考えていきます。それらを考えるためには、音声学の知識は欠かせません。今回は構音障害を理解するために必要な正常な構音動作を中心にお話をさせていただきます。 | 中村哲也 助教 |
| 第 1 回 (振替) 3/14(土) | 『教室環境における難聴児の聞こえの困難と、無線補聴援助システムの効果と課題』 近年、デジタル補聴器や人工内耳等の技術革新によって、重度であっても音声聴取が可能となり、就学前に音声日本語を獲得し、通常学校で学ぶ難聴児が増加しています。学習環境整備の一環として、無線で教師の発話を届ける補聴援助システムが導入されましたが、近年の学校教育では、班での話し合い等、子ども同士のやり取りを重視する傾向にあり、従来のような教師の発話のみへの対応では、授業理解を十分に補償できません。そこで、本講座では、どのような無線補聴システムの構成と運用が最も効果的に難聴児の学習を補償できるのか、最新の知見と取り組みを紹介します。 | 大原重洋 教授 |

※全日程 13:30-15:00 ※講座はシリーズとして開催しますが、一回のみの参加も可能です。

開催場所: 聖隷クリストファー大学 5 号館 4 階 5402 教室

※第 1 回(振替)のみ 5 階 5503 教室

〒433-8558 静岡県浜松市北区三方原町 3453

TEL:053-436-7233 FAX:053-437-6782

MAIL:career@seirei.ac.jp

交通アクセス:<https://www.seirei.ac.jp/access/>

お申し込みはお電話、FAX(裏面)
ホームページ(下記 QR コード)から



主催: 聖隷クリストファー大学 言語聴覚学科

FAX 送信先 0 5 3 - 4 3 7 - 6 7 8 2

FAX 申込用紙

聖隷クリストファー大学 言語聴覚学科 公開講座

| | |
|---|---|
| <p>ご希望の日時</p> <p>※講座はシリーズとして開催いたしますが、出席は全回、単独いずれでも可能です。</p> | <div> <input type="checkbox"/> 2月29日（土） 構音障害を理解するために必要な音声学入門 </div> <div> <input type="checkbox"/> 3月14日（土） 教室環境における難聴児の聞こえの困難と、無線補聴援助システムの効果と課題 </div> |
|---|---|

| | |
|----------------|--|
| 氏名 | |
| ふりがな | |
| 電話番号 | |
| E メールアドレス | |
| 勤務先（学生の場合は学校名） | |
| ご役職（学生の場合は学年） | |

| | |
|---|---|
| <p>この講座を何でお知りになりましたか (複数回答可)</p> | <p> <input type="checkbox"/> 広報誌クリストファー <input type="checkbox"/> ポスター <input type="checkbox"/> 大学ホームページ <input type="checkbox"/> メールマガジン <input type="checkbox"/> Facebook 等 SNS <input type="checkbox"/> 勤務先での掲示等 <input type="checkbox"/> 紹介 <input type="checkbox"/> その他 () </p> |
| <p>言語聴覚学科の公開講座で、今後取り扱ってほしいテーマがございましたらご記入ください。</p> | |
| <p>本学卒業生の方はチェックをお願いします。</p> | <p><input type="checkbox"/> 本学卒業生</p> |
| <p>大学院進学への興味はありますか？</p> | <p> <input type="checkbox"/> 興味がある <input type="checkbox"/> 今は無いが、将来的には考えてみたい <input type="checkbox"/> 興味は無い </p> |

*ご記入いただきました個人情報、本講座の運営と次回以降の講座のご案内に使わせていただきます。

〔問い合わせ先〕 聖隷クリストファー大学 キャリア支援センター

電話：053-436-7233

FAX : 053-437-6782

メール : career@seirei.ac.jp

HP : <https://www.seirei.ac.jp>